

令和 7 年度 専修大学大学院 文学研究科 修士課程第Ⅱ期入学試験 (一般・社会人入試)

令和 7 年 2 月 15 日 (土) 実施

科 目 名
専 門 科 目

受 験 番 号	氏 名

心理学専攻

【解答は別紙解答用紙へ】

I. 以下の 10 項目の中から 5 項目を選択し、それぞれについて知るところを述べなさい。解答用紙は 1 葉には 1 項目のみを解答し、解答した項目番号を () 内に記入しなさい。

- (1) 高次脳機能障害 (higher brain dysfunction)
- (2) 複雑性 PTSD (complex post-traumatic stress disorder: CPTSD)
- (3) ソーシャル・スナッキング (social snacking)
- (4) 条件即応モデル (contingency model)
- (5) 確率密度関数 (probability density function)
- (6) 棄却域 (rejection region)
- (7) 流動性知能と結晶性知能 (fluid intelligence, crystallized intelligence)
- (8) レミニセンス・バンプ (reminiscence bump)
- (9) 回避学習 (avoidance learning)
- (10) 逆向マス킹 (backward masking)

II. 以下の 4 問のうちから 1 問を選択して 400 文字以上で解答しなさい。解答用紙には、解答した問題番号を () 内に記入しなさい
ただし、臨床心理学領域を希望するものは必ず (1) を選択すること。

- (1) 不眠障害 (Insomnia Disorder) についてその改善に向けた心理的介入法について説明しなさい。
- (2) 心理実験において複数の条件を設定する場合、試行順についてカウンターバランスを取ることが多い。その理由について説明しなさい。
- (3) 発達心理学の知見の多くが、西欧や北アメリカで育った子どもを対象とした研究によって得られていることの問題点を指摘しなさい。また、発達の文化間比較を行うことは、ヒトの心の発達の解明において、どのような貢献をするか説明しなさい。
- (4) 抑うつ者が自己批判を循環させてしまう情報処理過程について、自己スキーマという言葉を用いて説明した上で、自己批判の循環を断ち切るために有効と考えられる方策を論述しなさい。

令和 7 年度 専修大学大学院 文学研究科 修士課程第 I 期入学試験 (一般・社会人入試)

令和 6 年 9 月 28 日 (土) 実施

科 目 名
専 門 科 目

受 験 番 号	氏 名

心理学専攻

【解答は別紙解答用紙へ】

I. 以下の 10 項目の中から 5 項目を選択し、それぞれについて知るところを述べなさい。解答用紙は 1 葉には 1 項目のみを解答し、解答した項目番号を () 内に記入しなさい。

- (1) 片側検定 (one-tailed test)
- (2) 社会的インパクト理論 (social impact theory)
- (3) カッパ係数 (kappa coefficient)
- (4) オープンダイアログ (open dialogue)
- (5) 過剰模倣 (over-imitation)
- (6) コホート系列計画 (cohort-sequential design)
- (7) 分化強化 (differential reinforcement)
- (8) 認知症の行動・心理症状 (BPSD : Behavioral and psychological symptoms of dementia)
- (9) 自己確証動機 (self-verification motive)
- (10) 基本味 (primary tastes / basic tastes)

II. 以下の 4 問のうちから 1 問を選択して 400 文字以上で解答しなさい。解答用紙には、解答した問題番号を () 内に記入しなさい

ただし、臨床心理学領域を希望するものは必ず (1) を選択すること。

- (1) 描画検査の例を二つ挙げ、検査対象者や実施目的などを含めて、それぞれの検査の特徴を説明しなさい。
- (2) 心理学実験を実施する際、実験者が意図せずに実験参加者の行動に影響を及ぼしてしまう実験者効果や、実験参加者が意識するしないにかかわらずに実験者の期待に応えようとしてしまうピグマリオン効果が生じてしまう懸念がある。このような望ましくない状況を回避するための方策について論じなさい。
- (3) 乳幼児を対象とした実験ではパペットがよく用いられるが、近年、社会的認知の発達を検討する研究で、人間の代わりにパペットを用いることの問題点が指摘されている。幼児にパペットとのやり取りを求める実験を例に挙げて、パペットを用いることの利点と問題点を議論しなさい。
- (4) 単独の意思決定に比較して集団意思決定の質が劣るとき、その理由と考えられる集団討議場面で生じやすい現象を指摘し、集団意思決定が「3 人寄れば文殊の知恵」となる条件を論じなさい。

令和 6 年度 専修大学大学院 文学研究科 修士課程第Ⅱ期入学試験 (一般・社会人入試)

令和 6 年 2 月 17 日 (土) 実施

科 目 名
専 門 科 目

受 験 番 号	氏 名

心理学専攻

【解答は別紙解答用紙へ】

I. 以下の10項目の中から5項目を選択し、それぞれについて知るところを述べなさい。解答用紙は1葉には1項目のみを解答し、解答した項目番号を () 内に記入しなさい。

- (1) 遊戯療法 (play therapy)
- (2) 分散分析 (analysis of variance)
- (3) 灰白質 (gray matter)
- (4) リスキー・シフト (risky shift) とコーシャス・シフト (cautious shift)
- (5) リフレーミング (reframing)
- (6) ホスピタリズム (hospitalism)
- (7) 関係的自己 (relational self)
- (8) 馴化-脱馴化法 (habituation method)
- (9) 最小二乗法 (least square method)
- (10) TOT現象 TOT phenomenon (tip-of-tongue phenomenon)

II. 以下の4問のうちから1問を選択して400文字以上で解答しなさい。解答用紙には、解答した問題番号を () 内に記入しなさい。

ただし、臨床心理学領域を希望するものは必ず (1) を選択すること。

- (1) 心理臨床の実践においては、スーパービジョンを受けることが重要・必要であると言われている。スーパービジョンについて、その意義を含めて知るところを述べなさい。
- (2) 視覚刺激を提示するインターネットを介した心理学的なオンライン実験を行う際に注意すべき事項を理由を挙げて述べなさい。
- (3) 新奇語を耳にした際、多くの場合、その語が指し示す意味の候補が数多く存在するため、新奇語の意味を正確に特定することは難しい。この問題を解決するために、乳幼児が使用していると考えられる手がかりを1つ挙げて説明しなさい。また、その手がかりを使用していることを確認するための、実験計画を立案しなさい。
- (4) 印象形成は入手した情報の単純加算によって生じない。印象形成の下位位相である「情報の収集」と「推論」のそれぞれに分けて、単純加算とはならない理由として考えられる傾向や現象について論じなさい。

令和 6 年度 専修大学大学院 文学研究科 修士課程第 I 期入学試験 (一般・社会人入試)

令和 5 年 9 月 23 日 (土) 実施

科 目 名
専 門 科 目

受 験 番 号	氏 名

心理学専攻

【解答は別紙解答用紙へ】

I. 以下の10項目の中から5項目を選択し、それぞれについて知るところを述べなさい。解答用紙は1葉には1項目のみを解答し、解答した項目番号を () 内に記入しなさい。

- (1) 四分位範囲 (interquartile range)
- (2) トークンエコノミー法 (token economy)
- (3) 栄光浴 (basking in reflected glory)
- (4) 条件反応の消去 (extinction)
- (5) ジェンセンの環境閾値説 (environmental threshold theory)
- (6) 境界人 (marginal man)
- (7) ネガティブ・プライミング (negative priming)
- (8) 三つ山課題 (three-mountains test)
- (9) 共分散分析 (analysis of covariance)
- (10) 合理的配慮 (reasonable accommodation)

II. 以下の4問のうちから1問を選択して400文字以上で解答しなさい。解答用紙には、解答した問題番号を () 内に記入しなさい。

ただし、臨床心理学領域を希望するものは必ず (1) を選択すること。

- (1) 自閉スペクトラム症 (ASD: Autism Spectrum Disorder) と注意欠如・多動症 (ADHD : Attention-Deficit/ Hyperactivity Disorder) のそれぞれの特徴を挙げ、両者の類似点と相違点について説明しなさい。
- (2) 他人種効果とは何かを説明をしなさい。次に、他人種効果が乳幼児の顔知覚の発達において、どのような意義を持つのかを考察しなさい。
- (3) 本日あなたが経験した出来事において非宣言的記憶が影響した行動もしくは判断を1つあげなさい。そして、その行動もしくは判断が非宣言的記憶に影響されたことを実証的に確かめる研究計画を立案しなさい。
- (4) 対人場面において欲求不満 (frustration) を引き起こす原因を、葛藤、欠乏そして喪失に分けて具体例を挙げながら説明し、それぞれに想定されるストレス反応について論じなさい。

令和 5 年 2 月 18 日（土）実施

科 目 名
専 門 科 目

受 験 番 号	氏 名

心理学専攻

【解答は別紙解答用紙へ】

I. 以下の10項目の中から5項目を選択し、それぞれについて知るところを述べなさい。解答用紙は1葉には1項目のみを解答し、解答した項目番号を（ ）内に記入しなさい。

- (1) ルビンの壺 (Rubin’s vase)
- (2) 名義尺度 (nominal scale)
- (3) 認知的整合性理論 (cognitive consistency theory)
- (4) 幼児図式 (baby schema)
- (5) MMSE-J精神状態短時間検査 改訂日本版 (Mini Mental State Examination-Japanese)
- (6) コア知識 (core knowledge)
- (7) 効果の法則 (law of effect)
- (8) 自己臭恐怖症 (Olfactory reference syndrome(ORS))
- (9) 社会関係資本 (social capital)
- (10) アルファ係数 (alpha coefficients)

II. 以下の4問のうちから1問を選択して400文字以上で解答しなさい。解答用紙には、解答した問題番号を（ ）内に記入しなさい。

ただし、臨床心理学領域を希望するものは必ず（1）を選択すること。

- (1) メンタルヘルスの不調を呈している知的障害のある人に心理療法を実施する場合、その留意点と必要な工夫を具体的に説明しなさい。
- (2) 薬物を繰り返し摂取することで、薬物の効果が減弱するような耐性が獲得されることがある。こうした薬物耐性の獲得を学習心理学的な観点から説明し、耐性の獲得を阻害するための方法について論じなさい。
- (3) 心理的に近い他者の優れた遂行・成績による自己評価への影響は、その遂行・成績が自己概念に関連深い場合と浅い場合で異なる。関連深い場合と浅い場合とでは、自己評価の高揚や脅威に違いが生じるかを比較過程と反映過程という言葉を用いて論じなさい。
- (4) 幼児期の分配行動は、発達に伴い、自己中心的な分配から平等分配へと変化する事がわかっている。この発達的变化はどのようにして生じるのだろうか。考えられる可能性をできるだけ多く挙げ、それぞれの機序について論じなさい。

令和 5 年度 専修大学大学院 文学研究科 修士課程第 I 期入学試験 (一般・社会人入試)

令和 4 年 9 月 24 日 (土) 実施

科 目 名
専 門 科 目

受 験 番 号	氏 名

心理学専攻

【解答は別紙解答用紙へ】

I. 以下の 10 項目の中から 5 項目を選択し、それぞれについて知るところを述べなさい。解答用紙は 1 葉には 1 項目のみを解答し、解答した番号を () 内に記入しなさい。

- (1) A not B エラー (A not B error)
- (2) 二次的信念 (second-order belief)
- (3) 第一種の過誤 (type I error)
- (4) 確実性効果 (certainty effect)
- (5) 行為者-観察者効果 (actor-observer effect)
- (6) 逆行性健忘 (retrograde amnesia)
- (7) 味覚嫌悪学習 (taste aversion learning)
- (8) ユングのタイプ論 (Jung's psychological types)
- (9) 両耳分離聴 (dichotic listening)
- (10) R 二乗値 (R-squared value)

II. 以下の 4 問の中から 1 問を選択し、400 文字以上で解答しなさい。解答用紙には解答した問題番号を () 内に記入しなさい。ただし、臨床心理学領域を志望するものは必ず (1) を選択すること。

- (1) ある児童が他害行動を繰り返している。この児童の他害行動について機能的行動アセスメント (機能分析) を実施し、行動的介入のための支援計画を立案する場合、具体的にどのような手順を踏む必要があるか。例を挙げながら説明しなさい。
- (2) 課題解決のために集団で討論をした場合、道具的コミュニケーションは全体の 6-7 割、残る 3-4 割は自己完結的コミュニケーションが生起することが知られている。なぜ課題解決に直接寄与しない自己完結的コミュニケーションが少なからぬ頻度見受けられるのか、その理由について具体例をあげて論述しなさい。
- (3) 赤色がヒトの食欲を増進するという仮説があるとする。そこで、「赤色が緑色より食欲を増進する」ということを検討する実験計画を立案して記述しなさい。ただし、方法において注意すべき点を明確にすること。
- (4) 要求の指さしと叙述の指さしとは何かを説明をしなさい。次に、乳児の指さしの産出を検討する実験において、要求の指さしと叙述の指さしを区別する方法を提案しなさい。